

ものごと(学問・道)を「知る」・「好む」・「楽しむ」とは

学校法人有朋高等学院
理事長 林明夫

- (1) 卒業生の皆様、御卒業おめでとうございます。この学校の校名は、孔子の教えを弟子たちが499の章にまとめた「論語」の「朋有遠方より来る、また、楽しからずや」に由来していることは、何回かお話ししました。卒業式でありますので、別の教えを御紹介いたします。

(2) 「子曰く、之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず」です。

(3) この意味は、「孔子が言った。ある物事について、単にそれを知っている者は、それを好む者に及ばない。しかし、それを好む者だって、その物事を楽しむ者には及ばないのだ」
*須永美知夫著「論語抄」足利学校1993年刊より引用。
- (1) これは、ものごと(学問・道)を「知る」・「好む」よりは「楽しむ」ことを目指しなさいという教えと考えます。

(2) ものごと(学問・道)を知らないのでは話になりませんが、ただ知っているだけよりは、それを好きになることが大事。好きになるだけでなく、それを楽しむことはもっと大事。

(3) まずは知ること、次に好きになること、そして、それを心から楽しむこと。そうすれば、たとえお金や物はたくさんなくても素晴らしい人生が送れることを、孔子はこのことばを通して教えてくれるものと考えます。
- (1) 皆様が、この有朋高等学院で学んだことはすべて上の学校や世の中で役に立ちます。一生役に立ちます。役に立たないことは何一つありません。

(2) ですから、大事なことは教科書や教材、ノートなどは決して処分しないこと。大切に死ぬまで身近において学び続けることです。

(3) そうすると、この有朋高等学院で一度学んだことですので、一つ一つの内容がより深くわかってきます。学べば学ぶほど「好き」になり、「学ぶ」こと自体が楽しくなります。高校の勉強を基本として、大学や短期大学、専門学校、社会で学んだことを付け加え、その内容をもっとよく「知り」「好きなり」、最後は「楽しむ」ことです。人生を楽しむことに結び付けてください。
御卒業おめでとうございます。



以上